

・阿寒摩周国立公園弟子屈町川湯地区利用拠点整備改善計画〔2025.10.20認定〕

計画名称	阿寒摩周国立公園弟子屈町川湯地区利用拠点整備改善計画
協議会名称	阿寒摩周国立公園弟子屈町川湯地区再整備に関する協議会
公表URL	弟子屈町ホームページ
計画期間	令和7年4月1日（ただし、認定の日以降）から 令和12年3月31日まで
計画区域	阿寒摩周国立公園川湯集団施設地区の一部を含む区域（区域図）
計画概要	本計画の対象となる川湯温泉は、本公園東部最大の利用拠点であり、温泉浴や周辺での自然探勝を目的とした利用者の滞在拠点となる温泉街が広がる。川湯温泉は平成3年をピークに利用者数は減少傾向にあり、川湯温泉ならではの魅力構築が求められている。本計画は、川湯温泉を適切な規模で上質な観光体験ができる温泉街に再整備するために、廃屋化した旧宿泊施設の撤去や上質な宿泊施設の新築等に取り組むものである。
基本的な方針	<湯の川がつむぐカルデラの森の温泉街> ・街中を強酸性のお湯が流れる温泉川を中心としたまちづくり、街中に植樹等を行うことで自然環境を取り込むなど、自然とにぎわいが一体となった温泉街を作り出す。 <川湯らしさを作り出すための景観ルール> ・新規事業者、既存事業者及び地域住民が川湯温泉に見合うデザインで整備等を実施できるよう、自然公園法や景観法等の規制と自主ルールを合わせた川湯温泉独自の景観ルールを作成し、各主体がそのルールに則った整備を目指す。 <川湯らしさが感じられる施設の整備> ・温泉川沿いが観光スポットになるよう、新しい川湯温泉の中心となる「川湯広場」、観光客・住民が気軽に利用できる「日帰り温泉」の整備、強酸性の温泉川に気軽に触れ、そぞろ歩きで散策ができる「川湯テラス」、夜の温泉街の賑わいの中心となる「川湯横丁」を温泉川に沿って整備する。 <利用目的の多角化> 「北海道東トレイル（HET）」の利用者の立ち寄りやキャンプやカヌー等のアウトドア客の誘致、キャンプ場整備など、集客ターゲットを広げる利用目的の多角化を行う。

利用拠点整備改善事業一覧

番号	氏名又は名称	事業種別	事業名	事業対象施設 /事業対象地	事業概要（延長・面積等）	事業実施期間（年度）				
						R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
	利用拠点の質の向上に係る役割									
	備考					特例				
	弟子屈町	その他	旧北一館撤去事業	旧北一館 弟子屈町（川湯温泉）	既存建築物の撤去 （敷地面積：3,797㎡、建築面積：1,000㎡）		■	■	■	
1	老朽化により景観を阻害し、安全上の支障が懸念される廃ホテルを除去し、観光地としての魅力向上を図るとともに、土地の有効活用を図る。									
	撤去跡地には民間宿泊施設誘致予定					無				
	弟子屈町	その他	旧橋屋・旧湯富イン（レジデンス）・旧まつも荘撤去事業	旧橋屋・旧湯富イン・旧まつも荘 弟子屈町（川湯温泉）	既存建築物の撤去 （敷地面積：9,074㎡、建築面積：5,765㎡）	■				
2	老朽化により景観を阻害し、安全上の支障が懸念される廃ホテルを除去し、観光地としての魅力向上を図るとともに、土地の有効活用を図る。									
	撤去跡地には、温泉地としての象徴となる施設及び広場などを整備予定					無				
	株式会社弟子屈ホテルマネジメント、株式会社星野リゾート	川湯宿舎事業	界テシカガ新築事業	界テシカガ 弟子屈町（川湯温泉）	宿泊施設の新築 （敷地面積：15,389.17㎡、建築面積：約3,000㎡）		■	■	■	
3	観光客誘致促進及び滞在の満足度向上に貢献する宿泊施設の新築									
						有				
	弟子屈町	その他	旧御園ホテル社員寮撤去事業	旧御園ホテル社員寮 弟子屈町（川湯温泉）	既存建築物の撤去 （敷地面積：2,673.49㎡、建築面積：226.26㎡）	■	■			
4	老朽化により景観を阻害し、安全上の支障が懸念される廃屋を除去し、観光地としての魅力向上を図るとともに、土地の有効活用を図る。									
	撤去跡地には観光事業者を誘致予定					無				



